

# 教会学校 教案ガイド

教師メモやメッセージアウトラインを読む前に必ずディボーションをしましょう。

## 1. みことば

祈りながら今週のテキスト(聖書箇所)を何度も繰り返し読んでください。また、今週の暗唱聖句を決定して、覚えましょう。

## 2. 主題の読み取り

今週のみことばの中心テーマを自分のコトバで、1つの文章にまとめて書きあらわしましょう。

例 ○:イエスさまは、弟子たちがイエスさまを救い主と信じるように  
カナで奇跡を行いました。(×:カナの婚礼と奇跡)

## 3. 教えられたこと

今週のみことばを通して、神さまがあなたに語ってくださったことを書きあらわしましょう。

## 4. メッセージの作成

◇「教師ノート」と「メッセージアウトライン」を参考にしてください。

◇注意深く聖霊さまの導きに従いましょう。

教会教育部公式サイト <http://ce.ag-j.or.jp/>

教会の働きのためにご自由にお使いください。営利目的での使用は禁じます。  
すべての内容の著作権は、日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団教会教育部にあります。

# 教 師 ノ ー ト

日付	2016年 6月 5日
単元	創世記・1
テーマ	天地創造
タイトル	すべてを造られた神さま
テキスト	創世記 1:1-2:3
参照箇所	ヨハネ 1:1-5、イザヤ 44:24、使徒 17:24-26、黙示録 1:8、4:11、コロサイ 1:16-17
暗唱聖句(教会で使用している聖書訳を記入して下さい)	創世記 1:1
AG 日曜学校教案参照箇所 (リンクできます)	<a href="#">小上 1 巻 1 題 2 課</a> 、 <a href="#">小下 2 巻 1 題 1 課</a> 、 <a href="#">幼 2 巻 10 題 1-6 課</a> 、 <a href="#">中 1 巻 1 題 1 課</a>
メモ(情報・例話など)	<p>神さまが創造主であることを正しく理解して信じることは、救いや世界観、すべてのことのもとになる重要なことです。特に子どもたちが、幼な子の素直な信仰でこの真理を受け入れることは非常に有益なことです。確信をもって語れるように祈り、聖霊さまの助けをいただきましょう。</p> <p>□導入</p> <p>1. メッセージを始める前に、この単元(創世記1～11章)では世界のはじめに起こったできごとについて、大切なお話を聞くことを伝えましょう。</p> <p>2. 興味を起す質問をしましょう。</p> <p><u>例1:</u> どんなお話(本・マンガ・ドラマ)でも、その始まりの部分を聞き逃してしまうと、あとの部分は理解できません。私たちが生きているこの世界のことも、その始まりのことを知らなければ、その意味が理解できません。世界はどのようにしてはじまったと思いますか? この世界はだれがどのようにして造ったのでしょうか?</p> <p><u>例2:</u> あなたはアサガオのタネから花が咲くまで育てたことがあるかもしれませんが、そのタネは初めどうやって造られたのか考えたことある? あの小さなタネからどうしてアサガオが育つのかな? アサガオのタネをつくることができたとしたら、その成長に必要な土や水や太陽はどうやってつくるのかな?</p> <p><u>暗唱聖句を読み上げます</u></p> <p>□ポイント1 神さまはこの世界の「はじめ」だよ</p> <p>どのように世界が創造されたかを語る前に、神さまが「初めの初め」であることをしっかり伝えましょう。天地が造られる前は、「地」の形がなく、何もないところに、「大いなる水」があったというのは、光もなく、何もない状態ですので、明確に説明するのは難しいでしょう。しかし、それ以前から存在していたのは神だけという事実はハッキリしています。はじめにおられた神だけが、この世界を造ることができたのです。また、無から有を造り出されるのも神だけです。現代の科学技術は電気を利用して光をつくったり、今やクローン生物をつくることはできます。しかし長い歴史の中で、何もないところから新しく光や命をつくり出すことは、神以外のだれもできた者はいないのです。</p> <p>☞1章1節はテキスト全体をまとめた独立節で、2節以降はその詳細の説明と考えれば理解しやすいでしょう。</p>

## □ポイント2 この世界にあるものは、全部神さまに造られたんだよ

ここでは、創造の7日間を(1章3～31節)を説明します。1.光、2.空と海、3.陸と植物、4.太陽、月、星、5.空と海の動物、6.陸の動物と人間。1日ごとに創造されたものを絵に描いてボードに貼り付けていくなど、視覚で理解を深める工夫をしましょう(小下2巻1題1課p8-10に簡潔にまとめた話し方と視覚教材の例があります。小上1巻1題2課も参照)。

☞第7日に神が休まれたのは、疲れたからではありません。すべてがみこころのとおり完成し、そしてそれが非常によかったからです。「創造の完成記念日」として祝福し聖なるものとされたと言えれば子どもにも分かりやすいかもしれません。(このメッセージアウトラインでは安息日制定の根拠には詳しくふれていません。)

☞創造の日については、24時間説、長期間説、枠組み説、啓示の日説など色々あります。この教師ノートでは、どの説を支持するというのではなく、単純に第1日、第2日…という表現を使っています。小学生には、聖書に書いてあるとおりに教えることが最も重要です。

## □ポイント3 神さまの偉大な力をほめたたえよう

創造主ご自身がご覧になって「非常によかった」ように、この世界は本当にすばらしい！子どもたちが、心から「神ってすごい！」と感じて、偉大な創造主を賛美できるように、身近な例をあげて語りましょう。

### 神さまの造ったものは美しい

青い空、夕焼け空、星や月を見て、きれいだなぁと思うでしょう。バラ・ゆり・チューリップなどをよくみてみましょう。あの形や色は偶然にできたのでしょうか？鮮やかな色の熱帯魚のデザインは、神がしたのでなければ誰がしたのでしょうか？

### 神さまが造ったものは大きい

太陽の大きさを野球のボールに例えると、地球は1ミリよりも小さくなります。太陽の重さは地球の33万個分と同じです。地球から太陽への距離は約1億5千万キロメートルです。太陽から地球に届くエネルギーの量は、原子力発電所(100万キロワット)が2億箇所必要になるほどです。今から新幹線で太陽を出発し、いちばん近い恒星に到着するのは約1500万年後です。

### 神さまが造ったものはよく考えられている

神は大きな宇宙を造られましたが、何でも大きかったら大変です。ダイコンが東京タワーほどの大きさだったらどうなるでしょう。リンゴが東京ドームくらい大きさだったら食べにくいでしょう。また、顔が逆さま(クチが上で目と鼻が下)だったら、ゴハンが食べにくくて仕方ありません。雨が真っ赤な色で、雪が紫色だったら、どうなると思いますか？みんなが困らないように、神はちゃんと考えてこの世界を造られました。

## □結論 全宇宙にあるすべてのものは、神さまによってつくられたんだよ

### □適用 (聞き手に最もふさわしい適用が与えられるように祈りましょう)

あなたは、美しい自然(山、海、川、太陽、花、空気…など)を神さまが造って、私たちに与えてくださっていることを信じて感謝しているかな？ほんとうの神さまだけが、このすばらしい世界を造ることができたんだよ。造り主なる神さまを心から信じて、その偉大な力をほめたたえよう。

# 教師ノート

日付	2016年 6月12日
単元	創世記・1
テーマ	創り主の愛
タイトル	大切なあなた
テキスト	創世記 1:26-31、2:4-7
参照箇所	エペソ 2:10、イザヤ 43:1-7、44:24、使徒 17:24-26
暗唱聖句(教会で使用している聖書訳を記入して下さい)	イザヤ 43:7

AG 日曜学校教案参照箇所 (リンクできます)

[小上3巻3題1課](#)、[小下2巻1題2課](#) [幼1巻10題1-5課](#)

## □導入

興味を起す質問をしましょう。

例: ここに、2つの作品があります。ひとつは誰か他の人が作った立派で美しい彫刻の作品で、もうひとつは、あまり上手ではありませんが、私が心をこめて一生懸命つくった粘土細工です。私にとってどちらが大切だと思いますか？

## □ポイント1 神さまは人間を造られました

👉メッセンジャーが理解しておくこと

創世記2章は、1章のように天地創造の順序を正確に記すことよりも、第6日の人間の創造(1:26-30)に焦点を合わせて詳しく説明する目的で書かれています。

まず、先週の創世記1章のメッセージを振り返り、6日目に人間が造られたことを思い出しましょう。神は必要な環境を全て整えてから、人間を造られました。これは赤ちゃんが産まれるとき、親が必要なもの(ベッド・服・おむつ・ミルク等)を、全て事前に準備しておく様子に例えることができます。人間は偶然にできたのではなく、神によって注意深く・計画的に造られたのです。

人は生物という点で他の被造物と同じですが、「いのちの息」が神によって直接吹き込まれたことにより、特別に造られたことがわかります。

👉「神が手で土をこねてどろ人形を造った」とは書いてありませんので、そのような表現を使わないように注意しましょう。

## □ポイント2 人間はご自身のかたちに似るようにつくられました

神は、「神に似るように」、「神のかたちに」人間を創造されました。神の形に似る・・・とはどういうことでしょうか？それは姿かたちではなくて、神と交わりをもつことができる存在ということを示しています。神の御声を聞き、自由意志をはたらかせて神の御心を行うことができるように造られたのです。つまり、人間は、神を愛してみこころを行うようにつくられたのです。神の形に似るようにつくられたことは、他の生き物と人間との決定的な違いです。ですから、6日間の世界の創造において、人の創造はクライマックスであり、特別であり、神の栄光のあらわれなのです。(小上3巻3題1課、小下2巻1題2課参照)

👉「われわれ」という複数形の表現は、神さまが何人もいると言っているのではありません。原語では、威厳・尊厳を表すときひとりに対しても複数形を用います。また三位一体を暗示する複数であると考えられる学者もいます。神さまは唯一の神さまです。

### □ポイント3 あなたは神さまにとって大切なのです

ここまでの説明で、人間が神に造られたということが、ハッキリとわかりました。ポイント3では、「あなたは神に造られたのだから、神に愛されている」というメッセージを伝えます。どのようなことばでも、メッセージャーが、最も真心を込めて語れるアプローチが最高の方法です。子どもたちに、神の愛を伝えましょう！

例1＝エペソ2:10から「あなたは神さまの作品です」と伝える。あなたは学校で何か工作を作ったことがありますね。他の人が作ったものと、自分が作ったものでは、どちらが大切ですか？どんな作品でも、造った人にとっては、それが一番大切に思えます。

例2＝マックス・ルケード「たいせつなきみ」(いのちのことば社)を一緒によむ。

例3＝イザヤ書43:7 暗唱聖句を読み上げます 「あなたは、神さまのすばらしさをあらわすために造られたのです。」「あなたが生きているということだけで、神さまのすばらしさがあらわれているのです。」ローマ1:20も参照。

例4＝あなたがボートの模型を作りました。心をこめて完成させて、それを川に浮かべて遊びました。しかしボートは川に流されて、あなたはそれを失いました。あなたは何日も何日も、一生懸命に探しました。そしてやっと、そのボートを拾った人を見つけました。しかしその人は絶対にボートを返したくないと言い張ったので、あなたは貯金を全部使って、その人からボートを買戻しました。神さまは、イエスさまの命の代価を支払って、あなたを買戻すほど、あなたのことが大切だったのです。

☞「愛されている」というコトバは必要に応じて「とても大切に思われている」と言い換えることもできます。

☞暗唱聖句は、必要に応じて、エペソ2:10、イザヤ43:4などに変更することができます。

### □結論 神さまが造ったから、あなたの人生は尊いのです

#### □適用（聞き手に最もふさわしい適用が与えられるように祈りましょう）

神さまがあなたを造り、とっても大切と思っているのだから、人と自分を比べるの必要はありません。また、同じように、神さまはあなたの友だちや家族みんなを造り、愛しているのです。私たちの目で見ると、自分だけちっぽけに見えたり、他の人の人生の方がカッコよくみえたり、不公平に見えたりもしますが、みんな神さまにとって大切な存在なのです。ひとりひとりが、神さまの愛に応えて、造られた目的のとおり生きましょう。神さまのみこころを行ない、神さまのすばらしさを表す人になりましょう。

# 教師ノート

日付	2016年 6月19日
単元	創世記・1
テーマ	結婚
タイトル	ふさわしい助け手
テキスト	創世記 2:18-25
参照箇所	創世記 1:26-31、2:4-7、1テモテ 2:13、1コリント 7:2-4、11:8-12、エペソ 5:22-28
暗唱聖句(教会で使用している聖書訳を記入して下さい)	創世記 2:18
AG 日曜学校教案参照箇所 (リンクできます)	<a href="#">小上 1 巻 1 題 2 課</a> 、 <a href="#">小下 2 巻 1 題 2 課</a> 、 <a href="#">幼 2 巻 10 題 7 課</a>
<b>□導入</b>	興味を起こす質問をしましょう。
例:	神さまが初めに造ったのは、男の人だけだったんだよ。男の人は赤ちゃんを産めないね……。女の人はどうやって造られたんだろう？
	人がひとりであるのはよくないということ、女の人が男の人の助け手として造られたということ、そして結婚という制度が神によって定められたということ……これらの真理を子どもたちが、幼な子の素直な信仰で受け入れ、歴史的な事実として理解することは、非常に重要なことです。結婚や夫婦関係について語るのはまだ早いと考えないで、真理をストレートに語りましょう。
☞	メッセンジャーは理解しておきましょう。 女性は男性の助け手であるということは、(念のために言うと)男性が偉くて、女性はいつもその従属的存在という意味では決してありません。女性も男性も人間としての価値・尊さは全く同じです。 (伝道者の書4:9~11ふたりはひとりよりもまさっている。ふたりが労苦すれば、良い報いがあるからだ。どちらかが倒れるとき、ひとりがその仲間を起こす。倒れても起こす者のいないひとりぼっちの人はかわいそうだ。また、ふたりがいっしょに寝ると暖かいが、ひとりでは、どうして暖かくなる。) )
☞	創世記2章は、1章のように天地創造の順序を正確に記すことよりも、第6日の人間の創造(1:26-30)に焦点を合わせて詳しく説明する目的で書かれています。ですから1章27節では男と女が同時に創造されたように読めますが、実際には2章で詳しく述べられているプロセスで造られたのです。
<b>□ポイント1 神さまは、男の人には助け手が必要だと言われたよ</b>	神は、「人がひとりであるのはよくない」と言われました。これは精神衛生上よくないということです。子どもたちにも分かるコトバにすると、人の心は、お互いに助け合わなければ生きてはいけないということです。単に生活面でのアシスタントではなく、男の人の全人格における必要を満たす助け手が必要だったのです。「ふさわしい」は原語で「彼と向かい合い彼と対を成す」というような意味です。別の個性を持った人が互いに相手の足りない点を補うのです。 そこで、神は「助け手を造ろう」と言われたのです。
☆もし、この世界に、ひとりしか人間がいなかったら……、子どもたちといっしょに自由に想像してみると楽しいでしょう。	

## □ポイント2 男の人、動物の中にふさわしい助け手がいるか探してみよう

神は、男の人の助け手を見つけるために、まず動物の名前をつけさせました。名前をつけるとき、その動物の特徴をよく観察するからです。それでその中から、男の人が自分にピッタリな助け手を探し出せるようにするためです。また、動物に名前をつけながら、自分にはどんな助け手が必要なのか、アダムは熟考したはずですが、土地のちりから人間を造りだせる神のことを思えば、たくさんの動物に名前をつけさせるのは面倒な作業だったはずですが、神のなさることには、いつも深い意味があるのです。

そして、結局、どんな動物も、助け手としてふさわしいものではないということがわかりました。

☆どんな動物が、ふさわしい助け手の候補になったか、子どもたちといっしょに考えてみると楽しいでしょう。例えば、ゾウは鼻が長くて、遠くのモノを取ってもらう時は助かるけど、一緒に寝たらつぶされてしまうかも・・・、など。

## □ポイント3 神さまは男の人にふさわしい結婚相手として女の人を造ったんだよ

どんな動物も、助け手としてふさわしいものではないということがわかったので、神は、男の人のあばら骨から女の人を造られました。この歴史的な重大事実を、子どもたちが信仰をもって受け入れることができるように、大胆に語りましょう。

☞「骨肉」は血縁関係を表すときに用いられることばです。男の人にとっては、自分の骨から造られ、その人無しには生きられないというかけがえのない存在が与えられたのですから、この上ない親近感があり、感動したはずですが。

☞「父母を離れて」や「一体となる」には深い真理があります。しかし、このアウトラインでは、それらについて詳述しません。子どもたちに理解して欲しいことは、「人の結婚は神との関係においてのみ正しく理解できる」ということです。神の創造の秩序を知らずに、結婚という人間関係を本質的に理解し、実現することは不可能なのです。結婚は人間が定めたものでなく、神の意図によるものだという、重大な事実を強調しましょう。

## □結論 神さまは大切な結婚の意味を定められました

*暗唱聖句を読み上げます*

## □適用（聞き手に最もふさわしい適用が与えられるように祈りましょう）

例えばメガネの役割は何だろう？ それはメガネを作った人がいちばんよく知ってるね。メガネを作った人は、視力の弱い人の目が良く見えるように助けるために、それを作ったんだよ。男の人の役割も女の人の役割も、それを作った神さまがいちばんよくご存知だね。それには深い意味や目的があるから、人間が勝手に変えてはいけね。メガネで歯を磨こうとしてもうまくいかないように、男も女も、神さまが造ってくださった目的のとおり生きるのが、一番幸せなんだよ。

# 教 師 ノ ー ト

日付	2016年 6月26日
単元	創世記・1
テーマ	自由意志と誘惑
タイトル	人間と罪・1
テキスト	創世記 3:1-7
参照箇所	ヨハネ 14:14
暗唱聖句(教会で使用している聖書訳を記入して下さい)	創世記 2:7

AG 日曜学校教案参照箇所 (リンクできます)  
[小下 2 巻 1 題 3 課](#)、[小上 3 巻 3 題 2 課](#)、[中 2 巻 1 題 1 課](#)、[中 3 巻 4 題 5 課](#)

**□導入**  
興味を起こす質問をしましょう

例:「ウソについてはいけません」、「意地悪をしてはいけません」と何度も教えられて、「もう絶対しない!」と決心したつもりが・・・、「ちょっとくらいイイかあ〜」とすぐに心が揺れてしまうことはありませんか? そんな時、あなたの心の中で、何が起こっているのでしょうか?

☞このアウトラインは「人間と罪・1」として、自由意志と誘惑をテーマにしています。子どもたちが巧妙にわたしたちの「考え」に入り込む誘惑の性質を知り、彼らがみことばの力によってそれに負けない心を持って欲しいと願います。罪の結果とイエスさまの救いの必要性については、次回「人間と罪・2」において語られます。今回は、サタンの誘惑に惑わされるとき、神のことばを思い出して、誘惑に打ち勝てるように励ましましょう(適用)。また、神は、神を愛して従うことを自分から選択するを喜ばれることを強調しましょう。

**□ポイント1 神さまは人間にひとつだけ命令を与えました**  
2章に戻って、エデンの園と善悪の知識の木について説明しましょう。エデンの園は、水の恵み豊かな、美しい木々の生い茂る土地、幸せな楽園です。アダムはエバが造られる前から、エデンの園に置かれ、「あなたは、園のどの木からでも思いのまま食べてよい。しかし、善悪の知識の木からは取って食べてはならない。それを取って食べるその時、あなたは必ず死ぬ。」と命令されていました。

善悪の知識の木の実は毒がなくて死に至らしめるとか、知恵を与える不思議な力あるのではありません。善悪の判断は、神がなさることです。人間の真の「善悪の知識」とは、神のみことばに聞き従うことです。逆に、神の命令に違反して、この実を食べるということは、人が神に代って自分で勝手に善悪の判断をする「自己中心」の生き方に転向してしまうことを意味しました。

他のことは自由でしたが、善悪の知識の木から取って食べることだけが唯一、禁止されていました。その木は園の中央にあり、手の届くものでした。ですから、その実を取って食べるか、食べないかは、すなわち、神の命令に従うか、従わないかの選択です。人間は、自由意志をはたらかせて、すすんで神の命令に従う方を選ばなければなりません。

神はあなたに、無理やり力づくで、命令に従わせるようなことはなさいません。あなたが、誘惑に負けないで、あなたの意思で、神を愛して従う方を選ぶことを望んでおられるのです。そうでなければ、神は、ロボットを作り、必ず従うようにプログラムすればよかったのですから。



## □ポイント2 ヘビは悪がしこいやりかたでエバを誘惑しました

サタンはヘビの悪賢い性質を利用して、エバを巧妙に誘惑しています。もし、ヘビが「食べる、食べる」と直接的な言い方をしたり、サタンがエバの口に無理やり木の実を押し込もうとしたなら、エバはもっと抵抗したのではないのでしょうか？誘惑は知らないうちに私たちの考えに忍び込んでくるから恐ろしいのです。聖書のみことばを正確におぼえて、そのとおりに守ることが大切です。

- ・直接に命令を受けたアダムではなく、エバを誘惑しています。
- ・「本当に言ったのか？」と問うことによって、過剰な不安を与えています。
- ・エバは神を弁護しようとして、「死ぬといけなから」と微妙な言い換えをしましたが、ヘビはそのスキに「決して死にません」とたたみかけるように言いました。
- ・神が人間を賢くさせないために(神のような立場に立たせることが惜しいから)、その実を食べさせないようにしているかのような言い回しで、神のことばに疑いをもたせました。

📖 誘惑ということばが難しい場合には、「人を迷わせて、人を神からはなれさせようとする」と解説をしましょう。

☆エバはヘビの質問に答えるとき、神が言ったことに少し付け加えたり、変えてしまったりしました。もしエバが、この時、ヘビのペースにはまらず、神のみことばを正確に言い返していたら、どうなっていたでしょうか？考えてみましょう。創世記3:2-3と創世記2:16-17を比較してみましょう。

## □ポイント3 人間には自由に選ぶ意志が与えられています

神に従わないことの方が、楽しく見えてしまうことは、しばしばあります。「神さまに従わなくても死なない、また赦してもらえるから罪を犯しても、ま、イイかあ〜」となることは、誘惑にすっかり乗ってしまった結果です。エバは目の欲、神さまのようになりたいという傲慢に従ってしまいました。またアダムのように、他の人も食べたから、自分もチョットくらいイイかあ〜」となってしまうないように気をつけましょう。

**今までの罪は全部イエスさまが赦して下さいます。これからは、聖霊さまがみことばを思い出させてくださって、みことばの力で誘惑に勝てるようにお祈りしましょう！！いつも神さまを愛して従う方を選択しましょう！！**

□結論 誘惑に負けないで神様の御言葉に聞き従おう

□適用 (聞き手に最もふさわしい適用が与えられるように祈りましょう)

例えば、あなたは、お父さん・お母さんのいうことをききたくないとき、「イエスさまは赦してくれるから、1回くらいいうことを聞かなくても大丈夫さ・・・すぐに地獄に行くわけではないだろう」、という気持ちになったことはありませんか？わたしたちも、エバがヘビにそそのかされたのと同じように、サタンの誘惑に惑わされることがあります。そんな時、神さまのことば・教会で教えてもらったことを正確に思い出して、誘惑に打ち勝ち、何が何でもそのとおりに従いましょう。今までの罪は全部イエスさまが赦して下さいます。みことばの力で誘惑に勝てるようにお祈りしましょう！！